

Biz Clip調査レポート(第34回)

企業の情報セキュリティ対策意識調査2022

2022.11.28

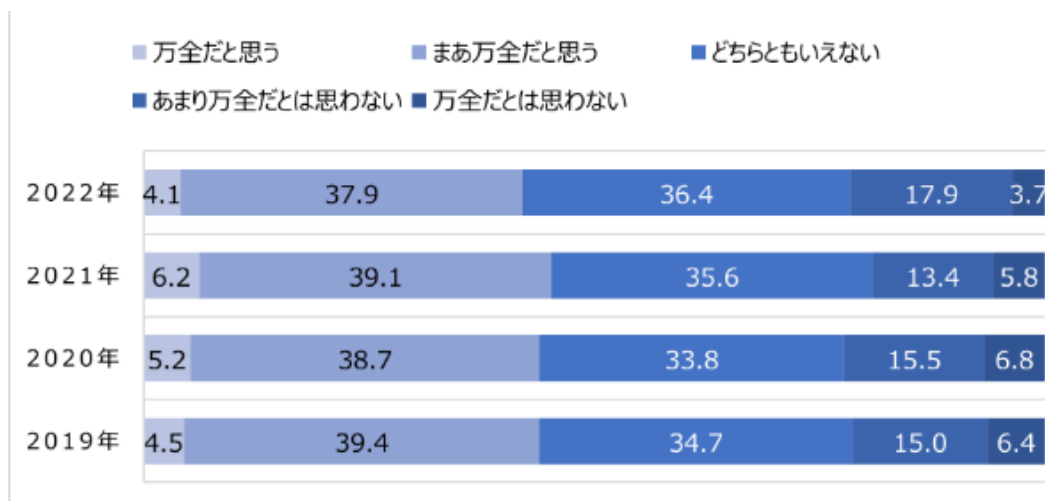


DX推進が企業にとって成長のドライバーとなる中、サイバー攻撃も多様化・複雑化の一途をたどっている。AIやRPAなど各種のICTテクノロジーや、社内外のコミュニケーションを円滑化するクラウドストレージ活用が進む現在、企業における情報セキュリティ対策はどうなっているのだろうか。対策度合いや、脅威に感じるもの、対策をするうえでの課題などの最新動向について2022年10月に調査を行った。調査は日経BPコンサルティングのアンケートシステムを用い、同社保有の調査モニター3680人を対象に調査を実施した。

42.0%が「情報セキュリティ対策が万全」と認識

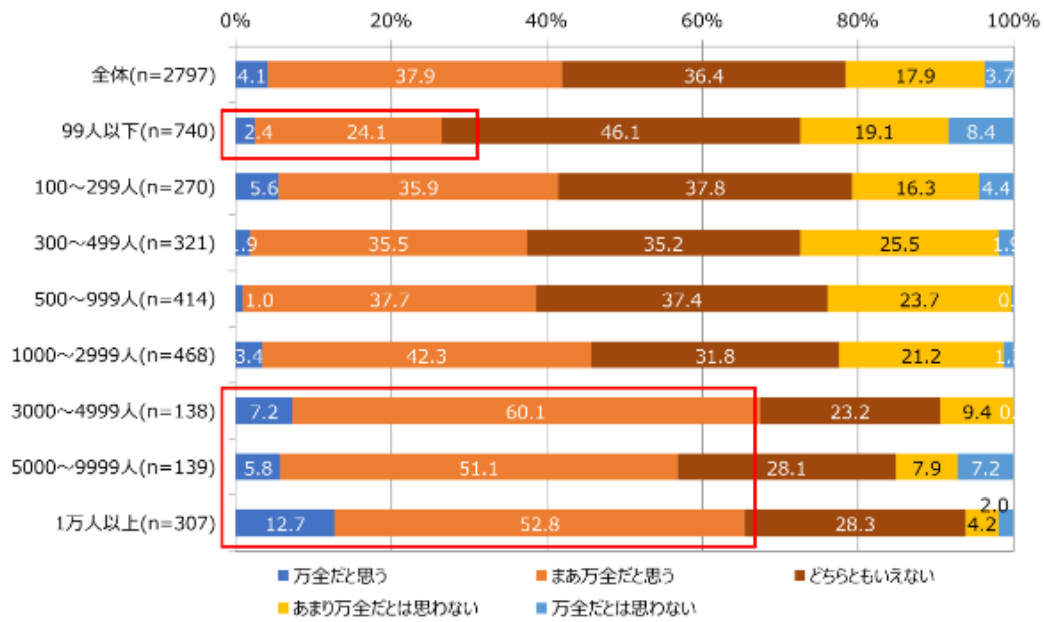
社内の情報セキュリティ対策が「万全だと思う」との回答は4.1%、「まあ万全だと思う」の37.9%と合わせると全体の42.0%が自社セキュリティ対策への信頼感を示し、前回調査とほぼ同様の形となった。「あまり万全だとは思わない」(17.9%)、「万全だとは思わない」(5.7%)は合計で21.6%、前回比で2.4ポイント増とほぼ横ばいとなった(図1-1)。

【図1-1 社内の情報セキュリティ対策は万全か(2019～2022年比較)】



社内の情報セキュリティ対策について従業員規模で分析すると、従業員数と対策の度合いの相関関係が見て取れる。例えば、万全と感じる割合は3000人規模以上の企業で高く、「万全だと思ふ」と「まあ万全だと思ふ」を合わせると共に約6割となる。一方、99人以下の企業の同項目選択率が3割を下回り、大きく開きを見せている。この結果からは、従業員規模が小さいほど情報セキュリティ対策は十分ではないと感じる姿が浮かび上がってくる(図1-2)。

【図1-2 社内の情報セキュリティ対策は万全か(従業員数別)】



脅威の“多様化”。適切なリスクマネジメントを… 続きを読む